

令和 6 年第 4 回定例会

(初 日)

令和 6 年12月 3 日

令和6年第4回平川市議会定例会会議録（第1号）

○議事日程（第1号）令和6年12月3日（火）

- 第1 会議録署名議員の指名
- 第2 会期の決定
- 第3 諸般の報告
- 第4 議案上程及び提案理由説明
- 第5 議案第94号 平川市高齢者ふれあいセンター条例を廃止する条例案
- 議案第95号 平川市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第96号 平川市特別職の職員の給料等に関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第97号 平川市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第98号 平川市文化センター条例の一部を改正する条例案
- 議案第99号 平川市公民館条例の一部を改正する条例案
- 議案第100号 平川市多目的集会施設条例の一部を改正する等の条例案
- 議案第101号 青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更について
- 議案第102号 青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更について
- 議案第103号 平川市営駐車場の指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について
- 議案第104号 平川市古懸コミュニティ浴場の指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について
- 議案第105号 平川市地域特産品生産施設、平川市文化観光館、平川市碓ヶ関関所及び平川市温泉交流館「御仮屋御殿」の指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について
- 議案第106号 葛川集会所の指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について
- 議案第107号 令和6年度平川市一般会計補正予算（第4号）案
- 議案第108号 令和6年度平川市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）案
- 議案第109号 令和6年度平川市介護保険特別会計補正予算（第2号）案
- 議案第110号 令和6年度平川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）案
- 議案第111号 令和6年度平川市国民健康保険診療施設事業診療所特別会計補正予算（第1号）案
- 議案第112号 令和6年度平川市水道事業会計補正予算（第1号）案
- 議案第113号 令和6年度平川市下水道事業会計補正予算（第1号）案
- 議案第114号 令和6年度平川市新屋財産区一般会計補正予算（第1号）案
- 議案第115号 令和6年度平川市町居財産区一般会計補正予算（第2号）案

- 議案第 116 号 令和 6 年度平川市石郷財産区一般会計補正予算（第 1 号）案
 議案第 117 号 令和 6 年度平川市新館財産区一般会計補正予算（第 2 号）案
 議案第 118 号 令和 6 年度平川市原田財産区一般会計補正予算（第 1 号）案
 議案第 119 号 令和 6 年度平川市大字大光寺財産区一般会計予算案
 第 6 請願第 3 号 地域社会に貢献するシルバー人材センターの決意と支援の要望
 に関する請願書

○本日の会議に付した事件
 議事日程に同じ

○出席議員（16名）

- 1 番 水 木 悟 志
 2 番 葛 西 厚 平
 3 番 小 野 誠
 4 番 北 山 弘 光
 5 番 葛 西 勇 人
 6 番 山 谷 洋 朗
 7 番 中 畑 一二美
 8 番 石 田 昭 弘
 9 番 石 田 隆 芳
 10 番 工 藤 秀 一
 11 番 福 士 稔
 12 番 佐 藤 保
 13 番 原 田 淳
 14 番 桑 田 公 憲
 15 番 齋 藤 剛
 16 番 齋 藤 律 子

○欠席議員（0名）

○地方自治法第121条による出席者

- | | |
|------------|---------|
| 市 長 | 長 尾 忠 行 |
| 副 市 長 | 古 川 洋 文 |
| 教 育 長 | 須々田 孝 聖 |
| 選挙管理委員会委員長 | 大 川 武 憲 |
| 農業委員会会長 | 今 井 龍 美 |
| 代表監査委員 | 鳴 海 和 正 |
| 総 務 部 長 | 對 馬 謙 二 |
| 財 政 部 長 | 對 馬 一 俊 |
| 市民生活部長 | 小 野 生 子 |

健康福祉部長	工藤伸吾
経済部長	田中純
建設部長	中江貴之
教育委員会事務局長	一戸昭彦
平川診療所事務長	齋藤恒一
会計管理者	古川聡子
農業委員会事務局長	中畑高稔
選挙管理委員会事務局長	佐藤崇
監査委員事務局長	小田桐功幸

○出席事務局職員

事務局 長	今井匡己
総務議事係 長	柴田真紀
主 事	佐藤日向子

○議長（石田隆芳議員） 皆さん、おはようございます。

会議に入る前に、議場内の議員、理事者並びに傍聴者の皆様に申し上げます。傍聴席では、議事進行の妨げにならないように静粛をお願いします。本定例会の開会中、報道関係者及び議会広報のため、議場内において撮影をすることを許可しておりますので、御了承願います。

本日の出席議員は16名で、定足数に達しております。

ただいまから、令和6年第4回平川市議会定例会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本定例会の会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、2番、葛西厚平議員及び3番、小野 誠議員を指名します。

日程第2、会期の決定を議題とします。

去る11月27日、議会運営委員会を開催し、会期について協議したところ、配付した会期日程表（案）のとおり、会期は本日から12月18日までの16日間に決定されました。

お諮りします。

本定例会の会期は、本日から12月18日までの16日間としたいと思います。

これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石田隆芳議員） 異議なしと認めます。

よって、会期は本日から12月18日までの16日間と決定しました。

日程第3、諸般の報告を行います。

令和6年第3回定例会以降の議会の諸般事項報告書、建設経済常任委員会、議会改革特別委員会から提出された所管事務調査報告書、議会運営委員会委員長より提出された申し合わせ事項、請願第3号地域社会に貢献するシルバー人材センターの決意と支援の要望に関する請願書、陳情第4号臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情、意見要望第4号意見書に対する回答の問題点について（意見と質問：要回答）、意見要望第5号令和7年度理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのお願い、市長より提出された議案第94号から議案第119号の計26件、監査委員より提出された令和6年7月分から9月分までの例月出納検査報告書、公の施設の指定管理者監査の結果報告3件、定期監査の結果報告についての提出がありました。

そのほか、令和5年度分教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価結果報告書、令和6年度上半期平川市公営企業会計業務状況説明書の提出がありました。

全てタブレットに掲載しておりますので、御精読願います。

以上で、諸般の報告を終わります。

日程第4、議案上程及び提案理由説明に入ります。

議案第94号平川市高齢者ふれあいセンター条例を廃止する条例案から、議案第119号令和6年度平川市大字大光寺財産区一般会計予算案までの26件を一括議題とし、市長より

提案理由の説明を求めます。

市長、登壇願います。

(市長登壇)

〇市長（長尾忠行） おはようございます。

本日、令和6年第4回平川市議会定例会の開会に当たり、提案いたしました議案の提案理由を御説明申し上げる前に、市政に係る諸般の報告を申し上げます。

まず、当市の基幹産業である農業についてであります。今年は世界的に問題となっている異常気象の影響も少なく、よい出来秋を迎えることができました。稲作については、津軽地域の作況指数が103のやや良、反収は637キログラムと発表され、一等米比率は、高温などの影響で品質が低下した昨年産から回復し、9割を超えております。

また、生産者概算金は、米不足などの影響を受け、主要3銘柄とも大幅に増加しており、農業用資材等の価格が高止まりしている中、生産者の所得向上や今後の積極的な営農活動につながるものと考えております。

りんごについては、春先に花芽不足などが見られたことから、栽培管理の難しい1年でありましたが、夏場以降の好天と生産者の皆様の努力により、玉伸びもよく、おおむね平年並みの収量を確保できる見込みと伺っております。

市場価格については、今のところ、平年に比べ大幅な高値で取引されており、販売額が過去最高額となった昨年産に続き、令和6年産の価格も好調に推移することを願っているところであります。

そのような中、11月7日をひらかわプレミアム給食の日と題し、当市で生産された青天の霹靂特別栽培米や野菜、牛肉をふんだんに使用したカレーライスを、市内の小・中学生に振る舞いました。松崎小学校では、私や石田議長のほか生産者の皆さんも、児童とともに特別感あふれる給食を楽しみ、当市の農作物のおいしさや食の大切さを一緒に学んだところであります。

次に、観光分野についてであります。11月12日から4日間の日程で、台湾に行ってみました。友好交流協定を締結している台中市政府を訪問し、陳観光旅遊局長と当市の観光や物産のPRのほか、今後の両市の交流が発展するよう意見交換を行ってみました。

また、今回も昨年度同様に遠東百貨での弘前市文化物産フェアに同行し、台中市や竹北市において、平川市をPRしてきたところであります。青森・台北線の定期便が運航を再開したこともあり、さらなるインバウンドの増加に期待しております。

当市の冬の恒例イベントであるひらかわイルミネーションプロムナードは、11月22日に点灯式を行いました。10回目の開催となる今年度は、本庁舎ピロティに約700個の台湾提灯を飾っており、新たな雰囲気を楽しむことができます。本庁舎と中央公園をメイン会場として、来年2月14日まで開催しておりますので、多くの方に幻想的な冬の夜を楽しんでいただきたいと思います。

次に、市内循環バスなどの公共交通についてであります。12月1日から、AI技術を活用した予約システムによる、平川市デマンド交通「のらっさ」が運行開始となりました。従来の平川市循環バスと尾上乗合タクシーの路線を1つの区域として運行し、停留所を大幅に増加させたことや、利用される方の希望に近い時間に乗車できること、キャ

ッシュレス決済への対応などにより、利便性がより一層向上するものと考えております。

以上、諸般の報告について申し上げます。

今後も議員の皆様、そして市民の皆様と力を合わせながら、平川らしいまちづくりを進めてまいりますので、御理解と御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

それでは、上程いたしました各議案の概要を御説明申し上げ、御審議の参考に供したいと思います。

議案第94号平川市高齢者ふれあいセンター条例を廃止する条例案については、平川市高齢者ふれあいセンターを廃止するものであります。

議案第95号平川市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案、及び議案第96号平川市特別職の職員の給料等に関する条例の一部を改正する条例案については、市議会議員及び特別職の期末手当の支給割合を引き上げるものであります。

議案第97号平川市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案については、青森県人事委員会の職員の給与等に関する報告及び勧告に鑑み、職員の給料月額、期末手当、勤勉手当及び寒冷地手当の額を引き上げるものであります。

議案第98号平川市文化センター条例の一部を改正する条例案については、平川市文化センターのホールロビーの単独利用を可能とするほか、施設の使用料を改めるため提案するものであります。

議案第99号平川市公民館条例の一部を改正する条例案については、平川市公民館の使用料を改めるため提案するものであります。

議案第100号平川市多目的集会施設条例の一部を改正する等の条例案については、今年度、建設中の葛川集会所を平川市多目的集会施設条例に追加し、平川市克雪管理センター条例を廃止するため提案するものであります。

議案第101号青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更について、及び議案第102号青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更については、令和7年3月31日をもって、構成団体である西北五環境整備事務組合が解散することに伴い、青森県市町村総合事務組合及び青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少並びに青森県市町村総合事務組合規約及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更について、地方自治法第290条の規定により、議会の議決を求めるものであります。

議案第103号平川市営駐車場の指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間についてから、議案第106号葛川集会所の指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間についてまでは、いずれも平川市公の施設の指定管理者の指定等に関する条例の規定に基づき、議会の議決を求めるものであります。

議案第107号令和6年度平川市一般会計補正予算（第4号）案について、その提案理由を御説明いたします。歳入歳出それぞれ22億9,672万6,000円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ211億8,063万8,000円とするものであります。

今回の補正の主な内容は、1点目に、戸籍システム標準化移行業務について繰越明許費を設定したこと。2点目に、令和7年度以降の指定管理料について、債務負担行為を

設定したこと。３点目に、令和７年度の工事の施工時期の平準化や、年度始めからの契約が必要な施設維持管理業務等に係る予算措置の適正化を図るため、ゼロ市債と呼ばれる債務負担行為の設定を行ったことなどであります。

続いて、歳入の主なものでありますが、１５款国庫支出金では、国庫負担金として、児童手当費２,８１２万２,０００円を追加しております。１６款県支出金では、集落営農活性化プロジェクト事業補助金を１,０００万円減額しております。１９款繰入金では、市債の繰上償還及び今回補正における財源調整として、財政調整基金繰入金６万６９１万円、市債管理基金繰入金１６億４,２０７万５,０００円をそれぞれ追加しております。

一方、歳出であります。人事院勧告を受けた給与改定等に伴い、職員人件費の調整分として、７,４８３万８,０００円を追加しております。

そのほか、主なものとしまして、２款総務費では、弘南鉄道株式会社に対しての鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助金３０２万６,０００円、３款民生費では、保育所等に係る施設型給付費１,７３１万３,０００円をそれぞれ追加しております。６款農林水産業費では、県補助事業不採択のため、集落営農活性化プロジェクト事業補助金１,０００万円を減額し、１２款公債費では、長期債元金の繰上償還を行うため、２１億４,２０７万５,０００円を新規計上しております。

以上が、一般会計補正予算案の主な内容であります。

議案第１０８号令和６年度平川市国民健康保険特別会計補正予算（第２号）案については、歳入歳出それぞれ８９７万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ３８億４８７万円とするものであります。

補正の内容は、人件費の調整のほか、前年度の交付金の精算等によるものであります。

議案第１０９号令和６年度平川市介護保険特別会計補正予算（第２号）案については、歳入歳出それぞれ２０５万１,０００円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ４３億７,６９７万７,０００円とするものであります。

補正の内容は、人件費の調整のほか、保険給付費のサービスごとの予算について、上半期の実績に基づき調整するものであります。

議案第１１０号令和６年度平川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）案については、歳入歳出それぞれ５０６万１,０００円を減額し、予算総額を歳入歳出それぞれ４億１,８９３万９,０００円とするものであります。

補正の内容は、人件費の調整によるものであります。

議案第１１１号令和６年度平川市国民健康保険診療施設事業診療所特別会計補正予算（第１号）案については、歳入歳出それぞれ３２６万７,０００円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ２億５,４９６万７,０００円とするものであります。

補正の内容は、人件費の調整のほか、電子カルテシステム改修に係る委託料等を追加するものであります。

議案第１１２号令和６年度平川市水道事業会計補正予算（第１号）案については、収益的収入１１１万９,０００円、収益的支出３９４万６,０００円をそれぞれ追加するものであります。

補正の内容は、人件費の調整及び有価証券受取利息を新規計上するものであります。

議案第１１３号令和６年度平川市下水道事業会計補正予算（第１号）案については、収益的収入８４万８,０００円を追加し、収益的支出８８５万５,０００円を減額、また、資本金収入のうち

企業債を2,550万円減額し、出資金を同額追加するものであります。

補正の内容は、人件費の調整、及び収支不足分を解消するため他会計補助金の追加、並びに企業債特別措置分を借入れしないことにより、出資金を追加するものであります。

議案第114号令和6年度平川市新屋財産区一般会計補正予算（第1号）案から、議案第118号令和6年度平川市原田財産区一般会計補正予算（第1号）案までの計5件の補正予算案については、補正予算合計で、歳入歳出それぞれ142万1,000円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ152万8,000円とするものであります。

補正の内容は、民間事業者の風況観測塔設置に伴う土地貸付収入や、令和4年大雨災害による森林保険金の受け取り、定期預金組替えによるものなどであります。

議案第119号令和6年度平川市大字大光寺財産区一般会計予算案については、予算総額を歳入歳出それぞれ150万8,000円とするものであります。

以上が、本日提出いたしました各議案の概要であります。細部につきましては、議事の進行に伴い、御質問に応じ、本職をはじめ、関係者からそれぞれ御説明申し上げます。

議員の皆様には、慎重御審議の上、原案どおり御議決を賜りますよう、お願い申し上げます。議案の説明を終わらせていただきます。

なお、訂正がございます。

議案第107号令和6年度平川市一般会計補正予算（第4号）案についての説明で、歳入19款、財政調整基金繰入金を6万691万円と申し上げましたが、正しくは6億691万円でありました。

謹んでおわびの上、訂正させていただきます。よろしくお願いいたします。

（市長降壇）

○議長（石田隆芳議員） 以上で、提案理由の説明は終わりました。

日程第5、各常任委員会への議案付託に入ります。

提出議案目録及び委員会付託一覧表（案）について、タブレットに掲載しておりますので御参照願います。

議案第94号平川市高齢者ふれあいセンター条例を廃止する条例案から、議案第119号令和6年度平川市大字大光寺財産区一般会計予算案までの26件を一括議題とし、これより質疑に入ります。

会議規則第55条の規定に「発言は、すべて簡明にするものとし、議題外にわたり、または、その範囲を超えてはならない。」とありますので、御注意ください。

質疑のある方は、議案番号を告げてから質疑を行ってください。

御質疑ありませんか。

（「議長、16番」と呼ぶ者あり）

○議長（石田隆芳議員） 16番、齋藤律子議員。

○16番（齋藤律子議員） 議案第107号についてお尋ねをいたします。

ページは51ページです。市長の説明にもありましたが、ゼロ市債のことで伺います。令和7年度の工事の施工時期の平準化や、年度初めからの契約が必要な施設維持管理業務等に関わる予算措置の適正化を図るため、ゼロ市債と呼ばれる債務負担行為を設定した、こういう説明でした。この中には、高齢者温泉施設利用支援事業、これが入ってい

るわけです。これは、4月から行われる予定となっている説明を議会も受けています。

まだ議決をしていない事項でありながら、これをこの今回入れたのはどういうことなのか。高齢者ふれあいセンター廃止にまつわる事業ですので、説明をお願いいたします。

○議長（石田隆芳議員） 財政部長。

○財政部長（對馬一俊） まず、ゼロ市債ですけれども、これ来年度早々着手すべき各種の事業について、支出行為を伴わない準備行為をするため設定をするものでございます。

御質問の高齢者のこの利用支援事業につきましても、条例の廃止案、御承認いただけるかどうかは、これからのお話ですけれども、御承認いただいた際、速やかに着手できるように、今回、債務負担行為として追加設定をさせていただいたところでございます。

○議長（石田隆芳議員） 齋藤律子議員。

○16番（齋藤律子議員） もう承認をするのを見込んで、ここに上げたということですね。こういう場合はこういう計上の仕方でもいいんでしょうか。

やっぱりそれは、ちゃんと従来のとおりにやるべきではないでしょうか。これがまず、例えばですよ、これが高齢者ふれあいセンター廃止条例が否決をされたとなると、ここは、じゃあまたどうなるんですか。この107号はどうなるんですか。

そういうことも合わせれば、これ、ちょっとおかしいじゃないですか。これは独自にやるべきものだと思うんですが、これ当たり前に廃止を承認してもらう、これを前提にしてやっていることじゃないですか。ちょっとそこら辺は、この自信があまりないようですが。

こういうこと、今まで行政側はちゃんとそこら辺の整合性取っていたんじゃないですか。どう思いますか。

○議長（石田隆芳議員） 財政部長。

○財政部長（對馬一俊） 何点かいま御指摘を頂きました。

まず条例のほうですね、仮に御承認いただけなかった場合、当然、本事業は実施できませんので、こちらの債務負担行為については、こちらから除くといった手続がございます。それから、これらの類似の案件につきましては、今後ですね、こういった形、条例を御承認いただいた後にどういうタイミングで追加設定できるか、ちょっと今後、こちらについては課題として整理をさせていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

○議長（石田隆芳議員） 齋藤律子議員。

○16番（齋藤律子議員） ゼロ市債が出てきたのは数年前ですよ。3年ぐらいになるんじゃないですか。それまでは全部新しく、新年度のことはこういうやり方でなくて、全部議会にかけていたわけでしょう。

まだその不確実なものをこうやってやること自体が、私はちょっと行政問題あると思いますよ。何でも自分たちの決めることをこうやってやれるという、そういう姿勢があまりないじゃないですか。本当にこういうことは、今までの行政はやってきませんよ。

これ、新規事業として、やっぱり、あれで今まで決まったことを、必ず4月からスタートしなければいけないことをスムーズにやるためにという、そういう説明を受けてきましたけれども、これはまた別にここから外して、ちゃんとやれることじゃないですか。

検討するとかなんとかでなくて、ちゃんと方法があるでしょ。それはおかしいと思います。これで3回目ですから、以上です。

○議長（石田隆芳議員） ほかに御質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石田隆芳議員） 質疑を終わります。

お諮りします。

議案第94号から議案第119号までの26件を委員会付託一覧表（案）のとおり、所管する常任委員会に付託することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石田隆芳議員） 異議なしと認めます。

よって、ただいまの26件は、委員会付託一覧表（案）のとおり、決定しました。

日程第6、請願の付託に入ります。

請願第3号地域社会に貢献するシルバー人材センターの決意と支援の要望に関する請願書についてを議題とします。

紹介議員は、福士 稔議員及び葛西勇人議員です。

紹介議員に請願の趣旨説明を求めます。

5番、葛西勇人議員、登壇願います。

（葛西勇人議員登壇）

○5番（葛西勇人議員） おはようございます。

請願第3号地域社会に貢献するシルバー人材センターの決意と支援の要望に関する請願書について、紹介議員として趣旨説明を行います。

現在、我が国のみならず本市においても人口減少、少子高齢化が進展し、現在でも地元の高齢者の方々には大変助けてもらっておりますが、今後、高齢者の方々には、より一層の活躍が期待されているところであります。

このような状況の中にあって、シルバー人材センター様には、人生100年時代を見据え、高齢者に対して地域の日常生活に密着した就業機会を提供するなどの社会参加を促進することにより、彼らの生きがいの充実や健康の保持増進、また、それによる医療費や介護費用の削減や高齢者の孤独・孤立の防止、さらには地域社会の活性化など、様々な地域課題の解決に貢献をしていただいております。

もともと、我が国において昨年ようやくコロナ禍が収束し、現在、社会経済活動も回復基調にあるものの、一方で昨今の人件費・物価高騰や人手不足という全国共通の課題に直面し、シルバー人材センター様におかれましても、人手不足の分野などでの就業機会の開拓や、マッチング機能の充実など、地域ごとの実情を踏まえた積極的な取組強化が求められております。

そこで、シルバー人材センター様では、高齢者の社会参加の促進という地域社会の期待に応えるべく、引き続き会員数の持続的な拡大に向けて、特に女性会員数の拡大や企業退職者などへの働きかけなどの取組を強力に推進しているところであります。

また、シルバー人材センター様では、自主、自立、共働、共助という理念の下、高齢者の安全就業を確保し、国が定めた適正就業ガイドラインを遵守しつつ、次の3つの事業をより一層進め、地域社会の発展と就業意欲のある高齢者の受け皿としての役割を果

たしてまいる決意でおられます。

1 介護予防・日常生活支援総合事業や介護施設の介護の周辺業務の切り出しなどによる要支援事業高齢者に対する支援事業の推進。2 子育て中の現役世代や子供たちへの支援事業や、空き家管理・墓地清掃など地域への貢献度の高い事業、また、遊休農地・休耕田を活用した農場運営など地域の課題解決に資する事業の推進。3 人手不足や働き方改革に取り組む地元企業に向けたシルバー人材派遣などの事業や、シルバー人材センター様の経営基盤の強化を目指すデジタル化事業の推進。

つきましては、シルバー人材センター様の令和7年度のこれらの事業推進や人件費・物価高騰対策のために必要な補助金などの確保を強く要望いたします。

特に、国に対しては、一般会計をはじめとした補助金の確保や新たな独自事業への立ち上げ支援を要望いたします。また、青森県と当市に対しては、厳しい財政事情であることは承知をしておりますが、国と同額以上の補助金の確保を強く要望いたします。

さらに、当市に対しては、シルバー人材センター様の公共事業の発注拡大による支援や、インボイス制度施行に端を発して、現在取り組んでいる契約方法の見直しに関して、シルバー人材センター様の安定的な事業運営が可能となるように、契約事務の適切な対応を強く要望いたします。

当市議会では、今年4月に平川市シルバー人材センター様との意見交換会を実施いたしました。同センター様からは、会員数や冬期間の業務の減少対策、インボイス制度への対応、人件費・物価高騰対策、事故防止に向けた古い機材の更新の促進など、優先度の高い課題が挙げられており、私自身も同センター様の地域貢献度を考えれば、当市からの支援強化は絶対に必要であると考えております。

議員の皆様におかれましては、本請願の趣旨を御理解いただきまして、どうか慎重審議の上、満場一致で御採択くださいますよう心からお願いを申し上げます。紹介議員としての趣旨説明を終わります。

(葛西勇人議員降壇)

○議長(石田隆芳議員) 以上で、紹介議員からの趣旨説明は終わりました。

会議規則第141条の規定により、請願第3号は、教育民生常任委員会に付託します。

次に、お諮りします。

4日、5日は議案熟考のため、本会議を休会にしたいと思います。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(石田隆芳議員) 異議なしと認めます。

よって、4日、5日は、本会議を休会することに決定しました。

以上で、本日の日程は全部終了しました。

次の本会議は、6日、午前10時開議とし、その日は一般質問を予定しております。

本日はこれをもって散会します。

午前10時44分 散会